

事務事業名	ぼかし利用促進事業		所属部局	市民部		単位番号	4112				
			所属課室	環境課		課長名	深澤政樹				
	☐ 実施計画事業		所属担当	ごみ減量化推進担当		担当者名	小笠原良仁				
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		20	快適生活環境の整備		01	一般	04	01	05	03	00
政策		33	生活環境の保全	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業						
施策					☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	南アルプス市環境基本条例						
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ごみの減量化及び、堆肥化による資源の有効利用のため、ぼかしの配布を年間2回実施し、生ごみの減量化に努める。(EMぼかし菌を米ぬかなどを入れて、EM菌を大量に増やした粉をEMぼかしと言い、このEMぼかしを生ごみにふりかけて、1〜2週間おくと無臭の土となり、これを花壇や畑の中に混ぜて使用する。)			事業費の主な内訳 (22年度)							
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
				消耗品費		280					
				その他原材料費		40					
				計		320					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	8月と2月の年間2回の配布を行った。(1,500個)
23年度活動予定	本年も同様に実施する予定である。(1,800個を予定)
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
ぼかし利用者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
生ごみ等の堆肥化により、資源を有効利用する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
ごみの減量化	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 配布戸数	戸
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 利用世帯数	戸
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア ぼかし購入個数	個
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア	kg
イ	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	340	320	440	340	300	300	
	事業費計 (A)			千円	340	320	440	340	300	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	10	10	5	5	5	5	
		人件費計 (B)	千円	45	45	20	20	20	20	0
	(A)+(B)			千円	385	365	460	360	320	0
活動指標			ア 戸	750.0	750.0	900.0	750.0	625.0	500.0	
			イ 戸	750.0	750.0	900.0	750.0	625.0	500.0	
			ウ 戸							
対象指標			ア 戸	750.0	750.0	900.0	750.0	625.0	500.0	
			イ 戸							
			ウ 戸							
成果指標			ア 個	1,520.0	1,500.0	1,800.0	1,500.0	1,250.0	1,000.0	
			イ 個							
			ウ 個							
上位成果指標			ア kg							
			イ kg							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併以前の旧町村時代より継続的に実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	ぼかしの配布要望は増している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	配布・補助金の要望あり。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	補助金に近い事業に係わらず、見直しの実地を行なわなかった。 ※自主運営ができるよう協議していきたい。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	ぼかし利用促進事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年次事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 ぼかしの製作者は、愛好者の団体であり、自主運営が望ましい。また、購入先は、福祉団体となっており、福祉への貢献事業として取り扱うことができる。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 民間の自主運営において対応が可能である。	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 補助(金)部分については、2～3年後には廃止をしたい。また、無料配布についても、不公平感が否めないため、継続性の必要性を感じない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 愛好団体の自主運営が基本となる。	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助目的の事業であるため、休止・廃止事業の可能性が高い。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 休止・廃止することにより人件費はかからない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 補助を受ける団体、ぼかしを利用できる世帯が市全体から見ると不公平感がある。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	一部の団体のみに、ぼかしを作るための原材料を供給しているため公平性に欠ける。また、民間愛好団体の独自事業として取組むことで、販売することが可能となる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 一部の団体への補助、一部の市民のみがぼかしの活用など、市民全体が均等に受益する機会がない事業である。 ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑥	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑥																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 現段階で補助団体は、1団体のみである。 ② ③																						